

第30回オリンピック競技大会(イギリス・ロンドン 7/28～8/4)

[選考方法]

1. 選考競技会を日本選手権(辰巳・4/2～8)とする
 2. 選考は、競泳競技国際大会選考方法に基づいて日本水泳連盟選手選考委員会があたり編成方針(日本水泳連盟が決定する)に沿って総合的な判断により選考する
 3. 選考は決勝のタイムとする
- *オリンピックにてメダルを獲得した選手は、2013年世界選手権出場権を付帯する(選考会出場を条件とする)
但し、同種目で、メダルを2人獲得した場合には最上位者1名とする

第5回ジュニアパンパシフィック大会(米国・ハワイ 8/23～27)

1. 選考競技会をジャパンオープン(辰巳・5/25-27)とする
 2. 選考は、日本水泳連盟選手選考委員会があたり人数枠の範囲で選考する
 3. 参加有資格者は、中学生及び高校生とする(平成6年4月2日～平成11年4月1日生まれ)
 4. 大会規則に基づき、過去にアジア大会・世界選手権・オリンピックの代表となった者以外から選考する
 5. 編成方針(日本水泳連盟が決定する)に沿って総合的な判断により選考する
 6. 編成人数は、OWSを含め最大40名とする
- *全国中学校への出場は移動等の問題で参加できない 全中:21-23、インハイ:17-20
*オープンウォーター参加者の競泳競技参加を認める(リレー種目は認めない)
*インターハイの参加は認めるが、事前合宿に必ず参加すること(7月28日～8月4日)

ワールドカップ遠征

*ワールドカップ遠征に選考された者は日本開催大会に必ず出場することを条件とする

[中東/ヨーロッパ/アジアシリーズ]

1. 日本選手権及びジャパンオープンにおいてインターナショナルC以上を突破した者へのアンケートを実施し、書類選考で記録の高い順から選考する
2. 派遣人数は未定

アジア選手権(UAE・ドバイ 11月)

[選考方法]

1. 選考は書類選考を持って行う。参加意思アンケートを実施する
*選考対象記録競技会はインターハイ・全国中学・JrPanPac・夏季JOとする
2. 選考は、日本水泳連盟選手選考委員会があたり人数枠の範囲で選考する
3. 参加有資格者は、中学生及び高校生とする
平成6年4月2日以降に生まれた者(平成24年4月2日を起算とし、18歳未満の者)
4. オリンピック代表以外から選考する
5. 編成方針(日本水泳連盟が決定する)に沿って総合的な判断により選考する
6. 編成人数は、最大32名とする

第11回世界短水路選手権(トルコ・イスタンブール 12/12～16)

1. インターナショナル記録突破選手から希望者を派遣する
 2. 男女最大30名を上限とする。但し、1国2名を考慮し、記録の高い者から選考していく
- *事前合宿(12月上旬)には原則参加すること。

ジュニア選抜遠征(シドニーユースフェスティバル 1/16～20)

JOC派遣

1. 選考は書類選考を持って行う
2. 選考は、競泳競技国際大会選考方法に基づいて日本水泳連盟選手選考委員会があたり編成方針(日本水泳連盟が決定する)に沿って総合的な判断により選考する
3. 参加有資格者は、中学生及び高校生とする(平成6年4月2日～平成11年4月1日生まれ)
4. 編成方針(JOCが決定する)に沿って総合的な判断により選考する
5. 編成人数は、JOC規定により男子9名、女子9名、スタッフ8名とする

ジュニアブロック遠征(シンガポール・3月)

1. 選考は、各ブロックに一任とし、日本水泳連盟に推薦し、日本水泳連盟選手選考委員会が選考する
2. 参加有資格者は、中学生及び高校生とする(インターナショナル・ナショナル以外とする)
平成6年4月2日以降に生まれた者(平成24年4月2日を起算とし、18歳未満の者)
3. 編成方針(日本水泳連盟が決定する)に沿って総合的な判断により選考する
4. 編成人数は、40名とする(各ブロック4名 男女、中学・高校各1名ずつを原則とする)